

# ベトナムの森林再生・修復計画と山地少数民族の参加

森林政策科学研究室・ラヴィンハイハー

## 1. はじめに

ベトナムの森林面積は、1945年には1,430万ha（総土地面積の43%）であったが、1995年には930万ha（28%）に減少した。このような森林減少の要因としては、（1）長期間戦争による約200万ha熱帯林の破壊、（2）森林過剰伐採、（3）人口増加による食糧増産のための農地への転用、（4）少数民族の焼畑農業等が指摘されている。

こうした環境悪化の状況に対して、ベトナム政府は1998年に、環境保護（水源保護等）、経済開発（林業振興）、社会開発（貧困対策）に資するために、2010年までに500万haの森林を造林によって再生し、森林率を現在の28%から43%に高める「森林再生・修復計画」（500万ha国家造林計画）を策定した。

## 2. 研究課題

国家事業の森林再生・修復への住民参加の実態について検討することである。

## 3. 方法

山地少数民族の居住地域における農家の戸別調査及び地方の関連機関（農村開発省、林業公社、地方人民委員会等）の取材等によって、森林再生・修復事業への住民参加の実態と課題を分析する。

## 4. 調査対象

調査対象はLamDong省のDonDuong地区のKadoコミュニティで、ベトナム高地の典型的な少数民族地域であり、伝統的焼畑移動耕作を行っていた少数民族が大半を占めている。

## 5. 山地少数民族の社会経済条件

### 5.1 多様な民族構成

現在、Kadoコミュニティは8つの集落からなり、そのうちNamHiep1・NamHiep2、NghiaHiep1・NghiaHiep2の4つの集落はKinh族が多数を占めている。残りの4つの集落はTaly村と呼ばれる村にあり、それらの集落は少数民族が多数を占めている。

Taly1集落とTaly2集落はChil族が、Kadocu集落はChuru族、Kadomoi集落はK.ho族がそれぞれ支配的である。

Taly村の3つの少数民族グループはそれぞれの代表者は長老であるが、各世帯の中に、伝統的な母系

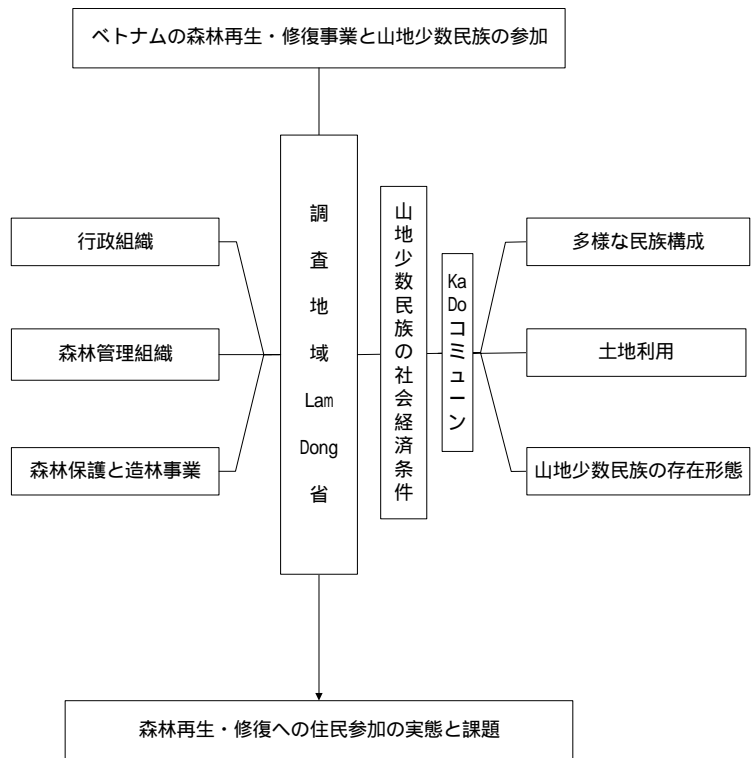


図-1 調査方法図

表-1 Taly村の多様な少数民族構成

特徴	Chil族	Churu族	K.ho族
集落名	Taly1・Taly2	Kadocu	Kadomoi
語族	MonKhmer	Malaya	MonKhmer
農業	焼畑農業	稲作	稲作
生活様式	移動	定住	定住
家族関係	母系	母系	母系
起源	高地	海岸	海岸

\* 資料：Kadoコミュニティ文献より作成

制度を持っているため、ほとんどの財産の管理は女性のものである。

(1) Chil 族 : Taly1 と Taly2 は Chil 族が多数を占めている。ほとんどの Chil 族は伝統的に焼畑移動耕作を行っていた。Taly1 集落と Taly2 集落は定住の歴史が異なる。

- ・ Taly1 の Chil 族は DaNhim の上流にあったが、1960 年からの DaNhim の水力発電所の建設に伴って Kado コミューンに移住したものである。移住後、焼畑移動耕作を始めた。
- ・ Taly2 の Chil 族は古くから散居形態で居住していたが、1950 年ごろから集居集落を形成し始めた。

(2) Churu 族 : Kadocu は Churu 族が大部分を占めている。Churu 族のほとんどは昔から低地稲作の伝統を持っており、稲作地の拡大のため、Chil 族の土地を買った。

(3) K.ho 族 : K.ho 族の Kadomoi 集落は Taly1 集落の Chil 族と同じ集落形成の歴史をたどってきた、DaNhim の水力発電所の建設を伴って、DaNhim から Kado コミューンに移住した。K.ho 族も低地稲作の伝統をもっているが稲作地不足のため、焼畑農業を行っていた。

## 5.2 土地利用の分類

(1) 自家菜園、畑 : 果樹やコーヒーなどを含む多年生の作物とトウモロコシ、豆、野菜のような 1 年生植物は家の周りに植えられている。

(2) 水田 : Churu 族と K.ho 族のほとんどのものが Taly 村の低地に水田を持っている。

Chil 族は伝統的焼畑移動耕作を行っているが、彼らは多少の水田を持っている。水田は 1 年に 1 回刈り入れごとに耕されている。

(3) 焼畑地 : 移動耕作は主に Chil 族によって行われている。1995 年の 5 月まで行われた定住農業計画による多大な努力にもかかわらず、移動耕作はまだ問題となっている。農作物の栽培の季節になると、人々は耕作地へ向かう。

(4) 林地 : 森林保護には多くの貧しい村人が契約により参加しており、重要な農外収入元であると考えられる。また、村人のための雇用機会が、不毛地開発計画のための再造林事業という形で、政府によって作り出されている。

## 6. 林業活動

### 6.1 森林保護契約

1992 年 9 月、ベトナム政府は No.327 プログラム「禿山、劣化林地において世帯単位で植林および森林保護を進めていく」と称する政策を発表した。これにもとづき DonDuong 森林管理署は、Taly1、Taly2 集落の中の 60 世帯と契約を結んで、合計 1,916ha の国有林を管理させている。平均 1 世帯当たり約 30ha の森林面積を担当することになった。住民は、管理費用として 1ha 当たり年間 3 万から 5 万 VN ドン、

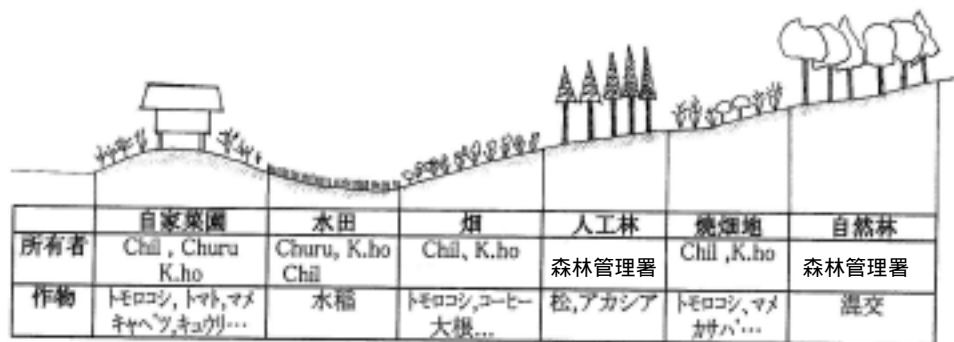


図-2 Taly村の土地利用の分類

\* 資料 : 実施調査より作成

表-2 Taly村の各種耕地面積

村名	民族	世帯数	人口	水田 (ha)	自家菜園・畑 (ha)	計 (ha)
Taly	Chil, K.ho, Churu	462	2,795	223.82	128.09	351.91

\* 資料 : Kado コミューンのデータより作成

これは1世帯あたり年間約90万から150万ドンを受け取る。また契約により、乾燥した薪、非木材産物などの採取権があたえられる。そのかわり、山火事、森林盗伐の予防義務が課せられる。後で詳しく述べるが、全体的にみて農業の収入が少ない階層ほど、森林保護参加割合が高くなっている。

## 6.2 植林の契約

327 プログラムは、山地の少数民族の労働力で植林を行うものであり、主な植栽樹種は松である。

・1983-1993年の植林は雇用によって行われた。住民は、管理署の職員から苗木の支給と技術指導を受け、日雇い賃金をもらって実施した。

ところが、1994年から、方式が変わって、請負形態になった。初年度に植林と手入れ費として1ha当たり120万VNドンが支払われることになった。ただし、支払い条件は、植林後の生存率が90%以上である。保育費用として、2年目にha当たり70万VNドン、3年目にha当たり60万VNドン、4年目にha当たり50万VNドンを支払うということになっている。植林請負から得られる収入は参加世帯平均当たり200万から300万ドンである。

## 7. Taly1-Taly2 集落における個別調査

今回は、このTaly村の4つの集落のうち、Taly1とTaly2に焦点をあてて、調査を行った。

### 7.1 世帯

Taly1, Taly2の人々の労働パターンは同じである。農業作業では女性と男性の両方が一緒に働いている。男性は穴を掘り、女性は種をまく。農作物は男性によって決められるが、家計の消費は女性が決める。家から遠く離れた傾斜の焼畑地で一日働いた後で、女性は燃材を収集して、家に持って帰る。若い男女も農業活動への参加し、牛の放牧にも関わっている。農外活動も男女の間に等しく割り当てられる。

表-3 Taly1・Taly2集落の人口

	2 - 3 (人)	4 - 5 (人)	6 - 7 (人)	8 - 9 (人)	10 - (人)	計 (戸数)
Taly1	9	29	24	12	5	79
Taly2	16	24	13	15	2	70

\* 資料：Taly1・Taly2の村長のデータより作成

### 7.2 耕地の所有

1950年以降、各種民族がKado コミュニティに移住してきたため、Kado 周辺の森林の伐採と焼畑耕作が始まった。元来、森林を含めたこれらの土地はChil 族の所有であったが、

表-4 Taly1・Taly2集落の各種耕地面積

集落	民族	世帯数	人口	耕地面積		
				水田 (ha)	自家菜園 (ha)	畑 (ha)
Taly1	Chil	79	446	13.6	13.8	3.8
Taly2	Chil	70	380	10.2	20.7	13.3

\* 資料：Kadoコミュニティのデータより作成

Churu 族やK.ho 族に土地を売ったため、彼らの所有地が減少した。

(1) 自家菜園：人口は826人(149世帯)で、Taly1とTaly2集落の自家菜園の面積は21.36haであり、平均面積は1人当たり2.5aである。この集落における世帯のほとんどが、自家菜園でトウモロコシや豆、トマト、大根などの換金作物を栽培している。

(2) 畑：畑の面積は16.97haで平均面積は1人当たり2.02aである。畑においても自家菜園のような換金作物を栽培している。

(3) 水田：稲作のほとんどは年間の6月から7月の雨季に行われる。現在、Taly1とTaly2集落は、Chil 族の水田は灌漑システムがなく、降雨に依存しているということである。この水田は1期作である。またChil 族の人口は826人(149世帯)で、水田面積は23.8haである。平均水田面積は1人当たり2.88aで、平均収穫量は初で年間100kgである。

FAO が 1 人当たり年間必要量を 333kg としていることからすれば、Taly1, Taly2 集落では大きく不足していることが明らかである。

(4) 焼畑：焼畑耕作における主な農作物は陸稲、トウモロコシである。Taly1-2 の Chil 族は栽培を 3-4 年続け、そのあと 10 年から 15 年の休閑期をおいて、再び同じ場所を耕作する。一般的な焼畑農業は化学肥料、農薬を使っていないので、陸稲の平均収穫量をみると初年度に 1ha 当たり約 900kg、2 年目、3 年目の収穫量としてそれぞれ 500kg、200kg と減少する。トウモロコシの収穫量は、初年度、2 年目、3 年目それぞれ 1ha 当たり 2,000kg、1,200kg、800kg と減少する。現在、ベトナムでは焼畑移動耕作は認められていない。しかし、人口圧力により耕作地不足であるため、焼畑を行った平らな斜面は常畑化することを認めるような政策がとられている。

### 7.3 年間の収入

表の年間収入をみると（農業活動、農業以外活動、日雇労働を含める）Taly1, Taly2 集落の年間収入は非常に低い。

表-5 Taly1・Taly2集落の年間収入

集落	1 - 5 (100万ドン)	6 - 10 (100万ドン)	11 - 15 (100万ドン)	計 (戸数)
Taly1	43	30	6	79
Taly2	69	1	-	70

\* 資料：Kadoコミュニティの統計より作成

### 7.4 農業活動の評価

(標本調査：18 世帯)

表-6 Taly1・Taly2集落の農業活動の評価

1戸当たり

これらの結果より  
農業活動の評価：

・ 米の生産性は高いが、  
稲作の面積は小さく、1  
世帯平均 0.15ha と小さ  
い。米以外の生産量は非

階層	農業粗収入 金額 (万ドン)	数	耕地 (ha)	水田 (ha)	自家 菜園 (ha)	畑 (ha)	森林保護 参加世帯 (数)
Group1	500~	2	1.93	0.77	0.36	0.8	0
Group2	100~500	8	0.86	0.28	0.33	0.25	2
Group3	0~100	8	0.27	0.11	0.09	0.08	5
総計		18	0.72	0.26	0.22	0.24	7

\* 資料：標本調査より作成

常に低い。これは降雨に大きく依存しているためである。

- ・ 人口増加にともなう耕作地不足、地力の低下による生産量の低下。その結果、現金収入が少ない。
- ・ 市場自由化により農産物価格が低落し、現金収入は減少し、貧困を生み出すことになる。また、市場価格は変動し不安定であり、現金化の手段（肥料、作物、健康医療、教育、祭りなど）であるから農作物の収穫後、商人に足元を見て買い叩かれた。このように、彼らは生産物の価格の決定権がない。
- ・ 農業収入と森林保護参加の関係をみると、Group1 では参加世帯 0 に対して、Group2 で 8 戸のうち 2 戸、Group3 では 8 戸のうち 5 戸が参加しており、農業収入が少ない階層ほど、森林保護に参加している。

\* 農作地だけに依存することは難しい。農作物以外からの収入を拡大することも重要な課題である。

### 8. まとめ

ベトナムは国家造林計画を通して少数民族の造林事業への参加を促進し、焼畑移動耕作を禁止するとともに生活の安定化を図ろうとしている。

すなわち、ベトナム政府は森林保護契約に参加する住民に保護費用として年間当たり 3 万から 5 万 VN ドン/ha、植林請負費用として 200 万から 300 万ドン/ha を支払っている。これらの収入は、農家収入の低い山地少数民族にとってはきわめて大きな意義がある。

しかし、とぼしい政府の予算では、この森林保護費用を今後継続的に負担できるかどうか疑問がある。また、植林請負農家には林伐採収益からの分収金がないということも問題である。

\* 保護費用や請負賃の支払い終了後、多くの少数民族を焼畑耕作に走らせることになる懸念されるのである。